

## 非常災害時の相互の応援に関する規約

### ◎ 義務規定

### ◎ 努力義務規定

#### (目的)

第1条 この規約は、川崎市老人福祉施設事業協会の会員たる施設（以下「会員施設」という。）が被災した際、当該施設の要請に応じ、会員施設が協力して応援することについて必要な事項を定め、もって会員施設の運営の継続及び利用者の安全の確保を図ることを目的とする。

#### (定義)

第2条 この規約において、次の各号に掲げる用語の意味は、それぞれ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 非常災害 暴風、竜巻、豪雨、洪水、崖崩れ、高潮、地震、津波その他の異常な自然現象に起因する災害又は火災その他の人為的災害をいう。
- (2) 被災施設 非常災害により施設の運営を継続することが困難になった会員施設をいう。

#### (防災責任者)

第3条 会員施設は、相互の応援を円滑に行うため、防災及び非常災害に関する責任者（以下「防災責任者」という。）を置くものとする。

- 2 防災責任者は、防災及び非常災害に関する連絡調整及び情報の共有に努めなければならない。

#### (防災組織)

第4条 会員施設は、別に定めるところにより、地域を単位とする防災組織として班を編成するものとする。

- 2 班には班長を1名、副長を1名以上置くものとする。
- 3 班長は、班を代表し、その班務を統括する。
- 4 副長は、班長を補佐し、班長に事故があるとき、又は班長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 5 班長及び副長は、班を構成する会員施設の防災責任者の互選により選任する。
- 6 班長及び副長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 7 補欠の班長及び副長の任期は、前任者の残任期間とする。

#### (相互応援)

第5条 会員施設は、被災施設から施設の運営を継続するために必要な人的、物的な支援、処遇が困難となった入居者の一時的な受入れなど、応援の要請を受けた場合は、可能な限りその要請に応えるよう努めるものとする。

#### (防災訓練)

第6条 会員施設は、別に定めるところにより、班内訓練、合同訓練その他の訓練を実施するものとする。

(その他)

第7条 この規約を施行するために必要な事項及びこの規約に定めのない事項は、理事会で決定する。

附 則

この規約は、令和4年7月1日から施行する。

附 則 (令和4年11月18日第104回理事会承認)

(施行期日)

1 この規約は、令和5年1月1日から施行する。